

第100回 定時株主総会

2004年9月29日

株式会社 アルバック

1. 営業の概況

(1) 企業集団の営業 の経過および成果

(1) 企業集団の営業の経過および成果

■ 経営環境

- ▶ イラク情勢などの不安定要素
- ▶ 米国 : 雇用環境の好転で好調な景気が持続
- ▶ 韓国・台湾・中国(アジア)
: 設備投資が堅調に推移し回復基調が鮮明
- ▶ 日本 : 製造業全般で設備投資や輸出が増加し
堅調に推移

■ 事業環境

- ▶ ディ스플레이・半導体業界
: 薄型テレビ、デジタルカメラ、DVD、携帯電話
などのデジタル家電市場が拡大
: 韓国・台湾を中心に積極的な投資を実施

■ 当社グループの対応

◆ 販売

- ▶ 独創的な新製品をタイミングよく市場投入
- ▶ アルバックソリューションズの推進による積極的な受注活動
- ▶ お客様からの価格引き下げ要求による販売価格下落

◆ 生産

- ▶ 生産改革第2段階の推進でコストダウン

◆ 一般管理費

- ▶ 諸経費の削減を継続し、固定費の圧縮

第100期(04/6期)業績(連結)

(単位:億円)

	第99期 (03/6期)	第100期 (04/6期)
受注高	1,478	1,782 (+21%)
売上高	1,275	1,579 (+24%)
売上総利益	241	300 (+24%)
営業利益	47	85 (+79%)
経常利益	36	73 (+105%)
当期純利益	17	40 (+129%)

下段()内は増減率

(小数点以下は四捨五入)

真空関連事業(1)

ディスプレイおよび電子部品製造装置

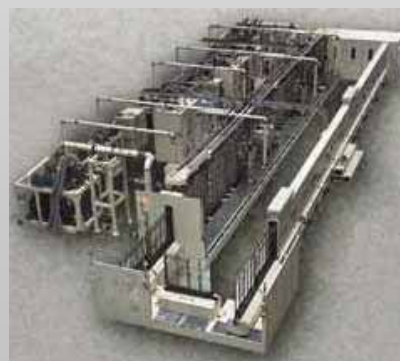
- 韓国、台湾、日本で第5、第6世代液晶ディスプレイやプラズマディスプレイなどの設備投資が積極的に行なわれた
- SMDシリーズ、SDPシリーズ、ECHシリーズの売上好調

枚葉式スパッタリング装置



SMDシリーズ

インライン式スパッタリング装置



SDPシリーズ

インライン式真空蒸着装置



ECHシリーズ

真空関連事業(2)

7

半導体製造装置

- デジタル家電だけでなく、自動車関連向けパワーICやLED(化合物半導体)における設備投資が行なわれた
- CERAUSシリーズ、ENTRONシリーズ、NEシリーズ、NLDシリーズなどの売上が好調

スパッタリング装置



CERAUSシリーズ



ENTRONシリーズ

エッチング装置



NEシリーズ



NLDシリーズ

真空関連事業(3)

コンポーネント

- 液晶ディスプレイ製造装置向け大型ドライポンプ、クライオポンプの受注、売上が好調
- 自動車部品業界、家電業界向け真空ポンプなどの受注、売上が好調

ドライポンプ



液晶ディスプレイ製造装置
向けドライポンプ

クライオポンプ



真空ポンプ



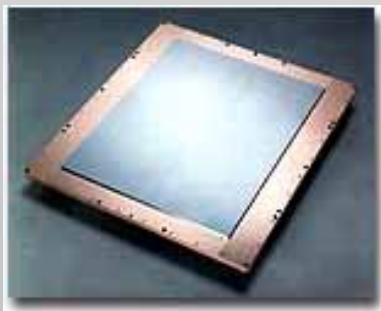
家電業界向け真空ポンプ

その他の事業

その他の事業

- アルバックソリューションズを生かしたグループ一体となった積極的な拡販活動をおこなう
- 液晶ディスプレイ、半導体関連用スパッタリングターゲット材料、部品洗浄等の材料ビジネスの受注売上が堅調
- ナノテクノロジー関連表面分析機器の受注売上が堅調

スパッタリング ターゲット材料



液晶ディスプレイ用
スパッタリングターゲット



半導体用
スパッタリングターゲット

表面分析機器



ナノテクノロジー関連
表面分析機器

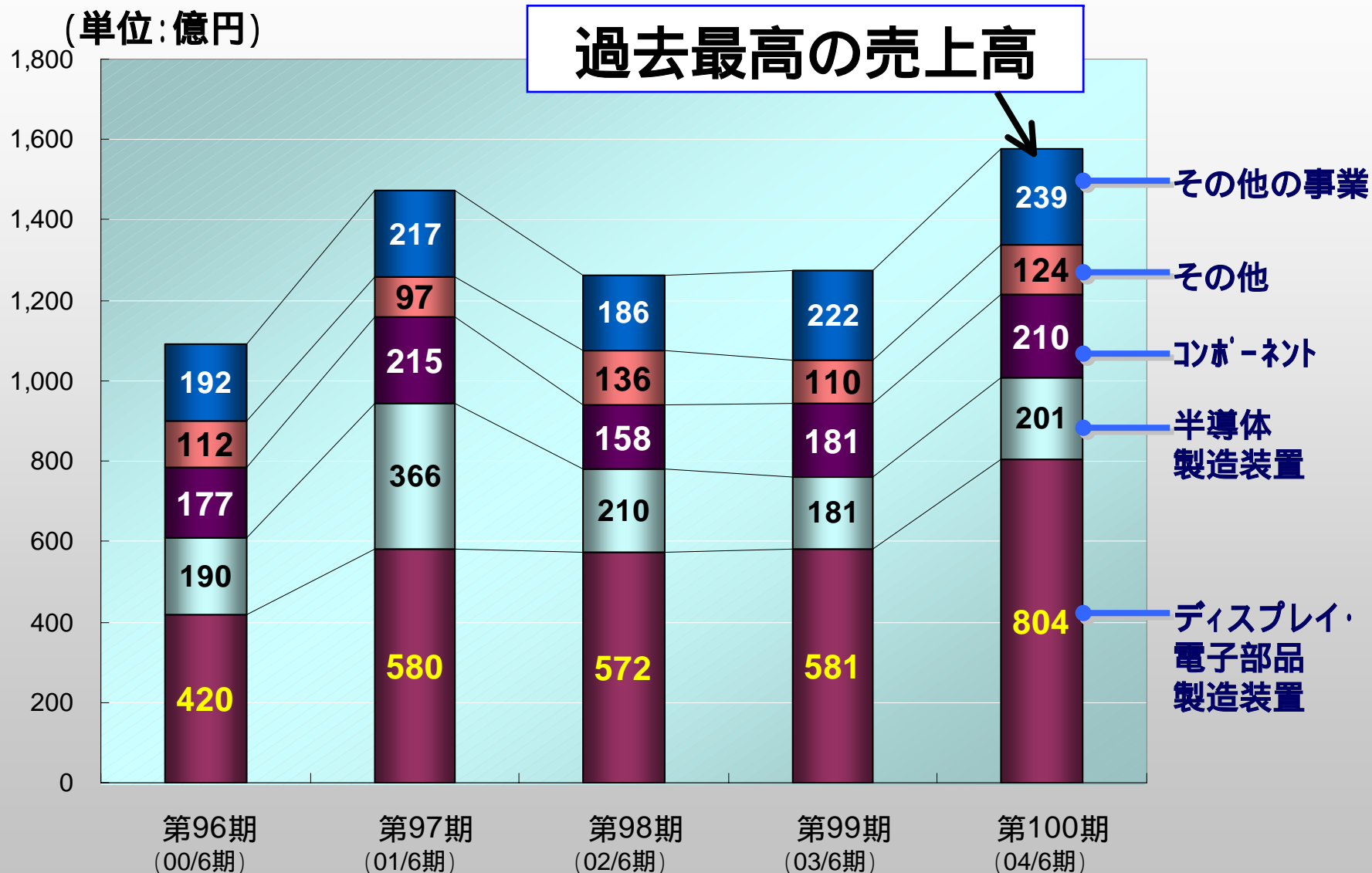
企業集団の事業セグメント別状況

(単位:億円)

事業セグメント	当期受注高		当期売上高		期末受注残高	
		前期比 (%)		前期比 (%)		前期比 (%)
真空関連事業 (営業利益)	1,542 -	123	1,340 77	127	756 -	137
その他の事業 (営業利益)	240 -	109	239 5	108	64 -	102
合計	1,782	121	1,579	124	820	133

(小数点以下は四捨五入)

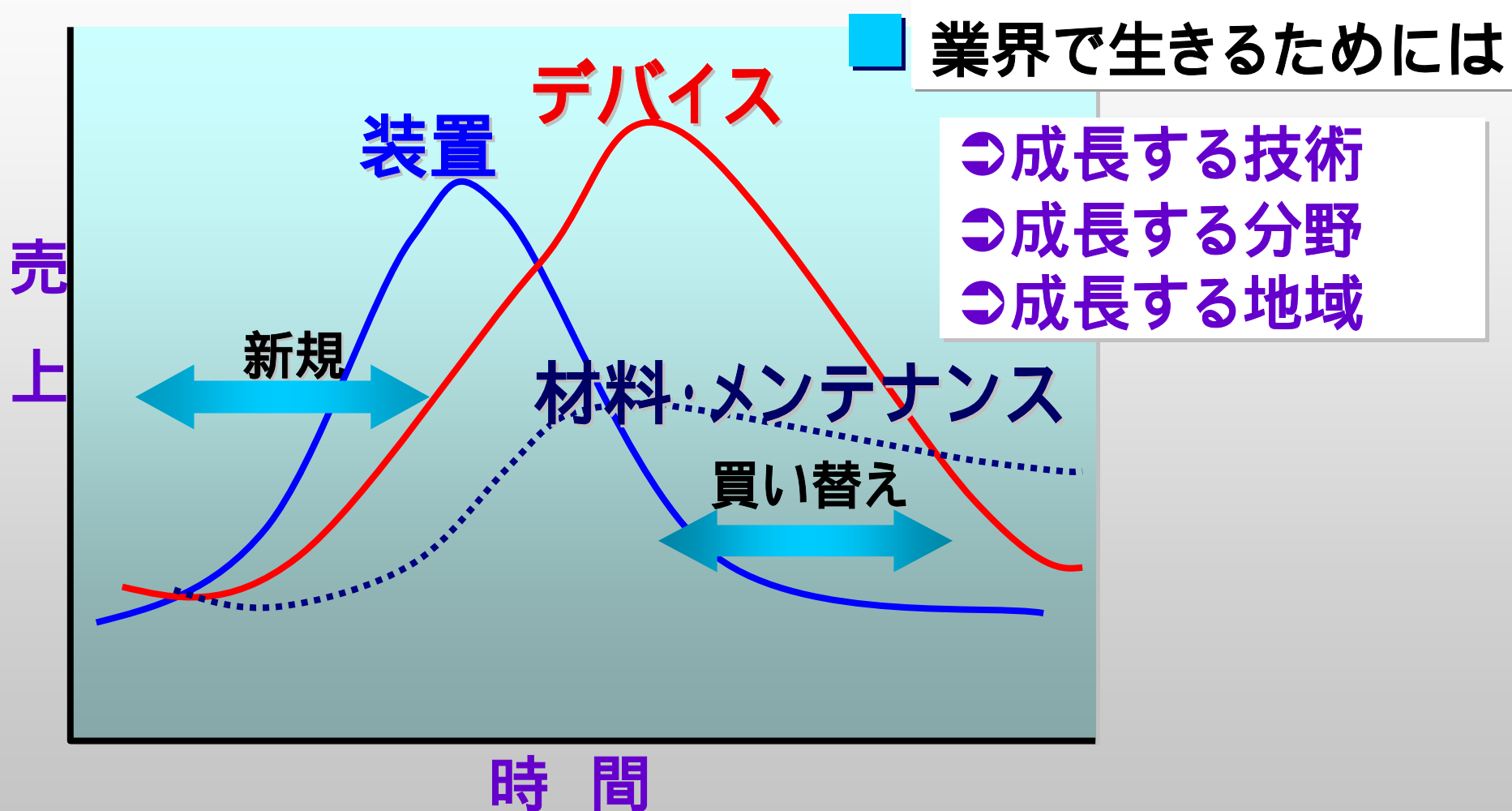
品目別売上高の推移



(小数点以下は四捨五入)

(2) 企業集団の 対処すべき課題

製造装置ビジネスの特徴



事業環境（1）

■ FPD^{*}・電子部品業界、半導体業界の事業環境

▶ 中期的には

ディスプレイ・デジタル家電分野の成長は周期的な変動をしながらも好調を維持すると予想

▶ 長期的には

ハイブリッドカー、二次電池、太陽電池などエネルギー・環境分野で新たな成長が始まると期待される

▶ 地域的には

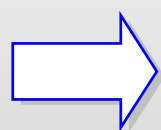
中国が全世界の製造業を牽引

* FPD: フラットパネルディスプレイ

事業環境（2）

■ 製造装置業界の事業環境

- ▶ デフレ経済の影響による市場価格の下落が継続



製造装置メーカー間での生き残りをかけた競争が激化

- ▶ 長期的には

韓国や中国の製造装置メーカーが台頭する可能性がある

対処すべき課題

目標

1

コストダウン

2

受注拡大

高収益で特徴的な会社へ

3

財務戦略

4

新商品開発

5

グローバル化

1.コストダウン戦略

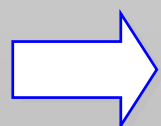
■開発や設計、調達・購買、製造など「エンジニアリングと製品作りの改革」を軌道に乗せ推進

▶ 生産改革第1段階(2000年7月～)

多品種少量生産品を対象とする標準化を中心としたコストダウン主体の生産改革の推進

▶ 生産改革第2段階(2003年7月～)

開発装置であっても完成度が高い製品作りをおこなう



価格競争力と収益性の向上をめざす

2.受注拡大戦略

- 競合他社が真似できない独創的、最先端の新製品を開発

⇒ 受注拡大

- 製造装置、材料、分析機器、コンポーネント、サービスなどをパッケージとして提案する「アルバックソリューションズ」を活用

⇒ シナジー効果による受注拡大

- 装置稼動後の部品洗浄・表面処理やメンテナンス、材料供給などを「CS(カスタマーサポート)ソリューションパッケージ」として提案

⇒ 受注拡大と安定化

3.財務戦略

■営業活動によるキャッシュ・フローの改善

生産改革第2段階で、収益力の向上、運転資金の圧縮等、営業活動によるキャッシュ・フローの改善に一段と努力

■当社グループの企業価値増大

2004年4月の公募増資資金と営業活動によるキャッシュ・フローなどを新商品開発戦略、グローバル化戦略の実現に向けて投資

4.新商品開発戦略

■フラットパネルディスプレイ分野

- ▶**中期的** ・大型基板ディスプレイ製造装置
・固体レーザーアニール装置
・有機EL製造装置
- ▶**長期的** ・インクジェットプリンティング

■半導体分野

化合物半導体やMEMSなどの製造装置

■電子部品分野

実装基板や光学薄膜などの製造装置

■コンポーネント

液晶ディスプレイ製造装置用大型ドライポンプ

5.グローバル化戦略

成長する地域である韓国,台湾,中国で事業を拡大

■中国

- ▶製造装置やコンポーネントの本格的生産の開始
- ▶中国市場に対応した生産会社の設立
- ▶事業統合会社設立検討

■韓国

- ▶第7世代以降液晶ディスプレイ製造装置の生産工場を建設
- ▶韓国市場で確固たる地位を築く

■カスタマーサポート体制の強化

- ▶お客様満足度向上のため、台湾、中国、韓国、シンガポールなどの拠点増強
- ▶技術者のレベルアップ

(3) 企業集団の 資金調達の状況

(3) 企業集団の資金調達状況

- 東京証券取引所市場第一部への上場時の
公募増資(2004年4月20日)

104億円
(1株当たり引受価額2,070.20円)

- 上場時のオーバーアロットメントによる売出しに
伴う第三者割当増資(2004年5月19日)

21億円
(1株当たり発行価格2,070.20円)

(小数点以下は四捨五入)

(4) 企業集団の 設備投資の状況

(4) 企業集団の設備投資の状況

■ 本社工場建物



■ 電子機器関連、半導体のスパッタリング、CVD、エッチング等の評価装置

■ 鹿児島事業所建物(アルバック九州)

■ 本社工場建物(アルバック東北)

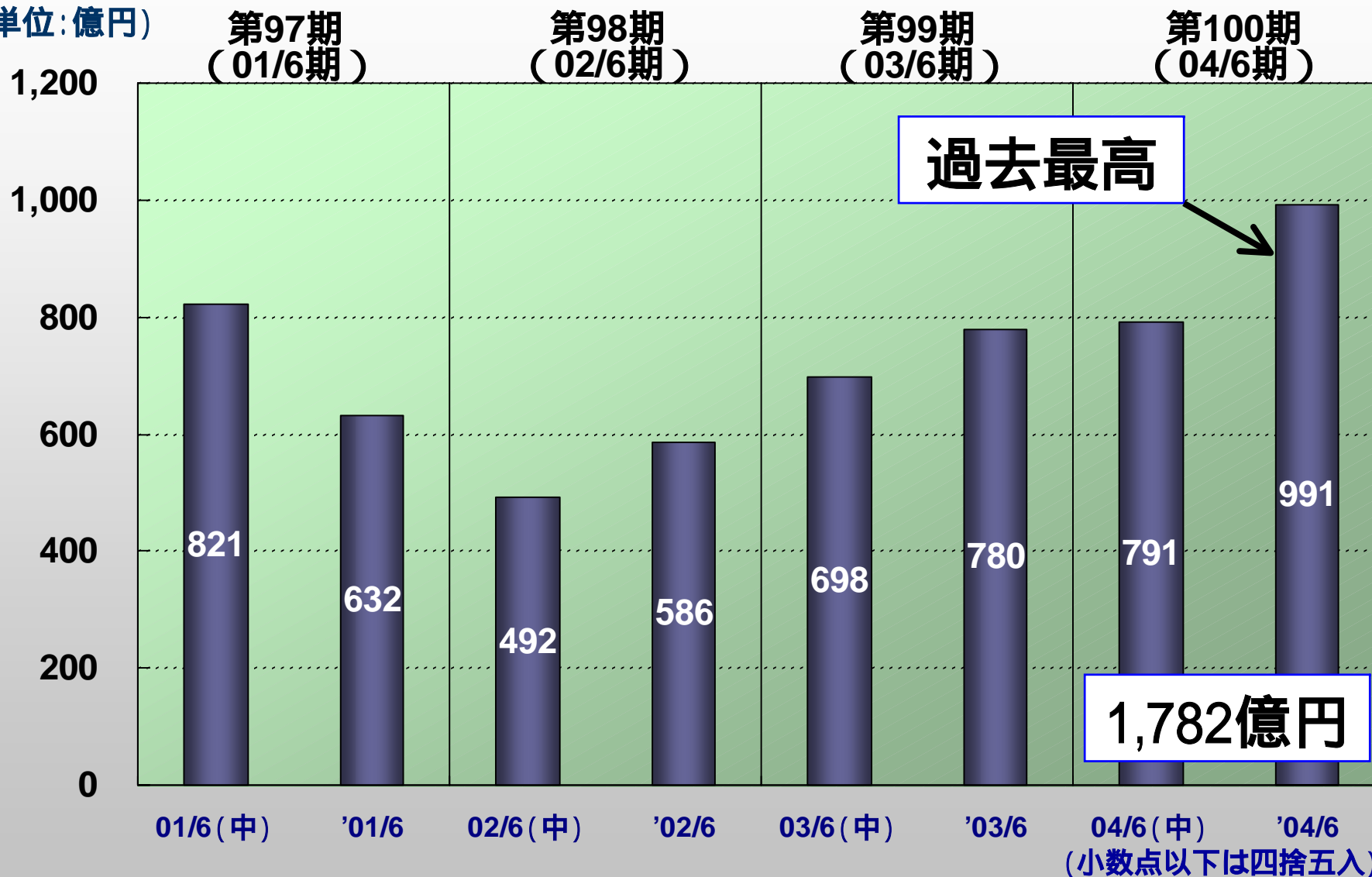
■ 本社工場建物(韓国アルバック)



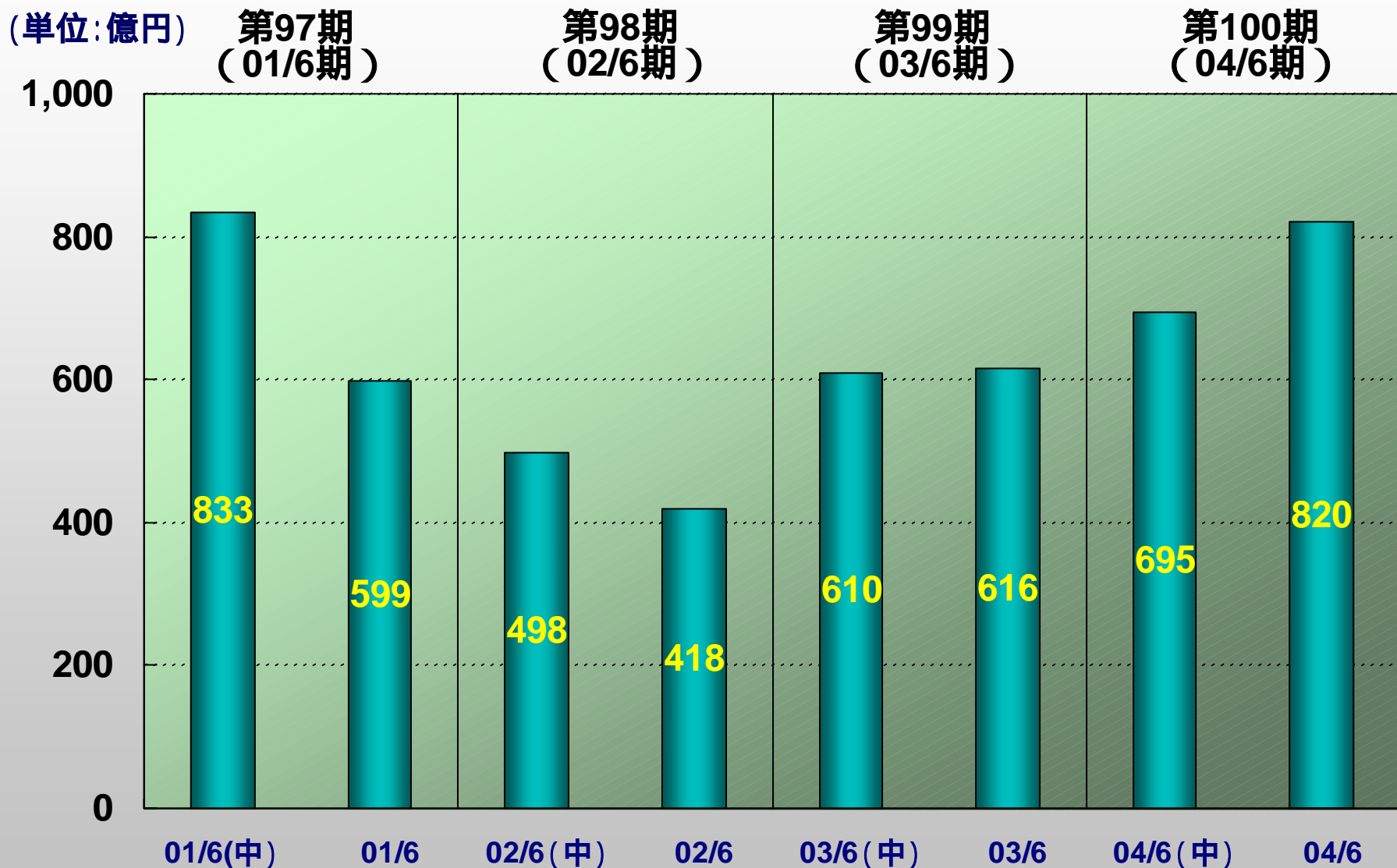
設備投資総額: 91億円

半期毎受注高の推移 (連結)

(単位:億円)



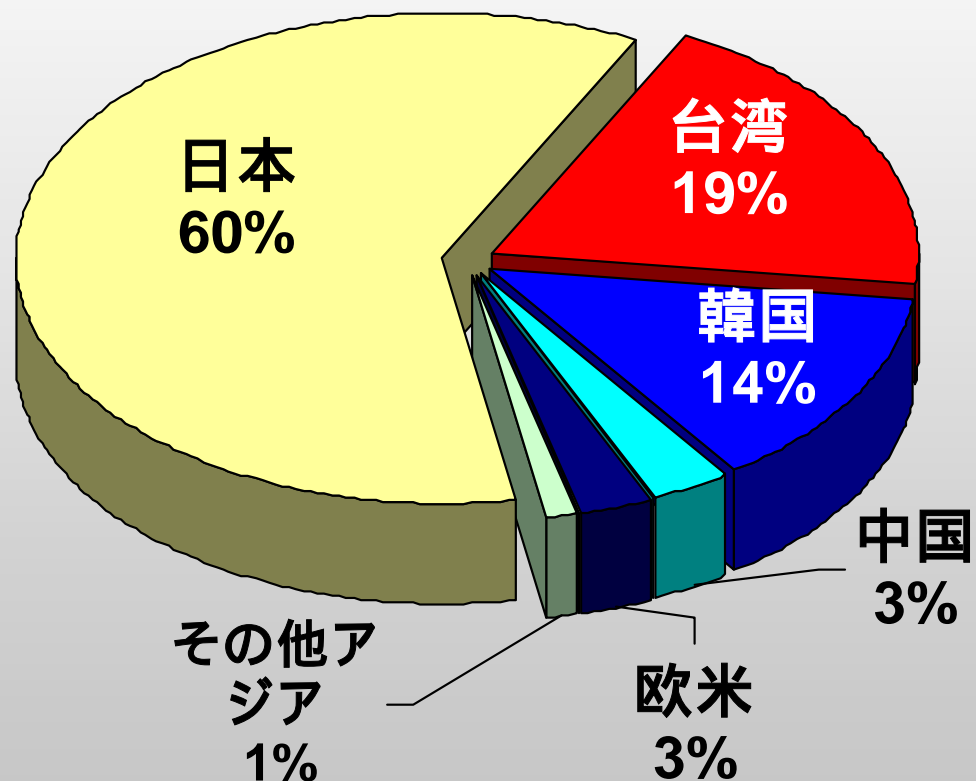
半期毎受注残高推移 (連結)



(小数点以下は四捨五入)

地域別売上高構成比(連結)

第100期(04/6期)



生産・サービス体制(国内)

主要工場 2ヶ所

**生産分担工場2ヶ所
(アルバック共業グループ)**

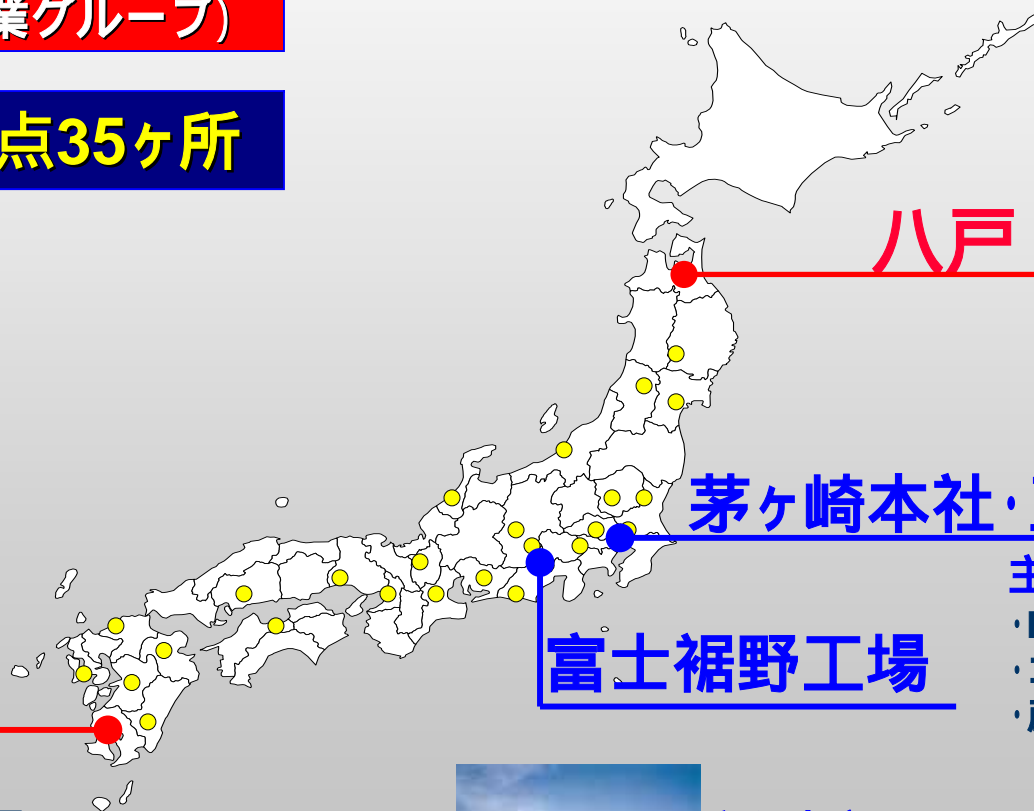
サービス拠点35ヶ所



鹿児島

主な生産品目

- ・FPD、電子部品製造装置
- ・コンポーネント、先端材料など



主な生産品目

- ・FPD製造装置、産業機器他
- ・大型真空装置部品
- ・機械加工他

八戸

茅ヶ崎本社・工場



主な生産品目

- ・FPD、電子部品製造装置
- ・コンポーネント
- ・産業機器、超高真空装置

富士裾野工場



主な生産品目

- ・半導体製造装置

生産・サービス体制(海外)



工場 6ヶ所

サービス拠点15ヶ所

バランスシート(資産の部)(連結)

(単位:億円)

	04/6期	03/6期	増減()
流動資産	1,369	1,164	205
現金・預金	179	157	22
受取手形及び売掛金	664	519	145
たな卸資産	472	436	36
繰延税金資産	30	28	2
その他	27	28	1
貸倒引当金	2	3	1
固定資産	638	576	62
有形固定資産	463	442	21
建物及び構築物	207	174	33
機械装置及び運搬具	142	133	8
工具器具及び備品	19	16	2
土地	74	74	1
建設仮勘定	22	45	23
無形固定資産	24	9	15
投資等	150	125	26
投資有価証券	85	68	17
繰延税金資産	29	26	3
その他	37	31	6
繰延資産	0	0	0
資産合計	2,006	1,739	267

売上高増加による

受注残高増加による

当社本社工場建物建設
アルバック九州鹿児島事業所増設
韓国アルバック本社工場増設

グループ会社株式取得

子会社・関係会社への投資

バランスシート(負債・資本の部)(連結)

	04/6期	03/6期	増減()
流動負債	1,043	943	101
支払手形及び買掛金	502	355	146
短期借入金	348	427	78
一年以内償還予定社債	5	-	5
賞与引当金	11	10	1
未払法人税等	26	14	12
製品保証引当金	23	16	7
その他	128	120	8
固定負債	349	345	4
社債	27	30	3
長期借入金	232	234	3
退職給付引当金等	88	78	9
その他	3	2	0
負債合計	1,392	1,288	104
少数株主持分	33	32	1
資本金	90	39	51
資本剰余金	102	29	73
利益剰余金	389	354	35
その他有価証券評価差額金	7	0	7
為替換算調整勘定	5	2	4
自己株式	0	0	0
資本合計	581	420	162
負債・資本合計	2,006	1,739	267

(単位:億円)

受注、受注残高増加による

上場時公募増資による
返済等

上場時公募増資による

第100期(04/6期)業績(連結)

(単位:億円)

	第99期 (03/6期)	第100期 (04/6期)
受注高	1,478	1,782 (+21%)
売上高	1,275	1,579 (+24%)
売上総利益	241	300 (+24%)
営業利益	47	85 (+79%)
経常利益	36	73 (+105%)
当期純利益	17	40 (+129%)

下段()内は増減率

(小数点以下は四捨五入)

バランスシート(資産の部)(単体)

(単位:億円)

科 目	第100期 (04/6期)	第99期 (03/6期)	増減()
流 動 資 産	801	712	90
現金及び預金	70	49	21
受取手形及び売掛金	507	367	140
たな卸資産	195	260	65
繰延税金資産	15	14	1
その他	14	21	7
固 定 資 産	464	406	58
有形固定資産	296	288	7
建物及び構築物	119	100	19
機械装置	102	94	7
その他	75	94	19
無形固定資産	4	4	0
投資その他の資産	164	114	51
投資有価証券等	141	91	50
その他	23	23	0
繰延資産	0	0	0
資産合計	1,266	1,118	148

売上高、受注残高増加による

在庫圧縮による
たな卸資産(商品、製品、
原材料、仕掛品)減少

当社本社工場建物建設他

(小数点以下は四捨五入)

バランスシート(負債・資本の部)(単体)

(単位:億円)

科 目	第100期 (04/6期)	第99期 (03/6期)	増減()
流 動 負 債	601	612	11
支 払 手 形 及 び 買 掛 金	335	286	49
短期借入金(1年以内含む)	187	248	62
未 払 金 等	38	38	0
そ の 他	42	39	2
固 定 負 債	245	242	4
社 債	25	30	5
長 期 借 入 金	181	180	1
そ の 他	39	32	7
負 債 合 計	846	853	7
資 本 の 部			
資 本 金	90	39	51
資 本 剰 余 金	102	29	73
利 益 剰 余 金	222	198	25
株 式 等 評 価 差 額 金 等	6	0	6
資 本 合 計	420	265	155
負 債 ・ 資 本 合 計	1,266	1,118	148

受注高、受注残高増加による

上場時公募増資による返済等

上場時公募増資による

第100期 (04/6期) 業績 (単体)

(単位:億円)

	第99期 (03/6期)	第100期 (04/6期)
受注高	1,035	1,271 (+23%)
売上高	857	1,110 (+29%)
売上総利益	107	146 (+37%)
営業利益	1	30 (+1189%)
経常利益	12	43 (+256%)
当期純利益	6	28 (+348%)

下段()内は増減率

(小数点以下は四捨五入)

主な経営指標 (第100期 (04/6期) 連結)

37

- 株主資本比率 : 29.0%
- 総資本利益率 (ROA) : 2.1%
- 株主資本利益率 (ROE) : 7.9%
- 売上高経常利益率 : 4.6%
- 借入金依存度 : 30.5%

■ 役員報酬

役員報酬基準を設け役位毎に支給額を決定

■ 役員賞与

役員賞与支給基準を設け経常利益率により
支給月数を規定

■ 役員退職慰労金

役員退職慰労金規程により役位別係数を定め
その役位の在任年数により算出

- ▶ これらすべての情報は本社(茅ヶ崎)および各支店に常備し、閲覧可能となっております

1. 第1号議案

第100期利益処分案承認の件

2. 第2号議案

定款一部変更の件

3. 第3号議案

取締役10名選任の件

第1号議案 第100期利益処分案承認の件

利益処分案

(単位:円)

摘 要	金 額
当 期 未 処 分 利 益	3,649,424,589
固定資産圧縮積立金取崩額	16,642,886
計	3,666,067,475
これを次のとおり処分いたします。	
利 益 配 当 金 1株につき20円 〔 普通配当10円 記念配当10円 〕	768,557,040
役 員 賞 与	86,120,000
(うち監査役賞与)	(12,400,000)
別 途 積 立 金	800,000,000
固定資産圧縮積立金	1,187,816
次 期 繰 越 利 益	2,010,202,619

今後の配当方針について

■ 第101期配当(2005/6月期)

- ▶ 2004/6期の記念配当10円を普通配当に切り替え、第100期の普通配当10円に上積み20円と公表。更に、この20円配当に上積みができるよう事業推進を図りたい

■ 第102期(2006/6月期)以降

- ▶ 連結当期純利益に対する配当性向15%を目指す

今後、株主資本比率が相当程度上昇した段階で、更に配当性向を引き上げることを検討

第2号議案 定款一部変更の件

■変更の理由(1)

(1) 事業内容の多様化と今後の事業展開に備えて、現行定款第2条の事業目的を追加するものであります。

(2) 「商法及び株式会社の監査等に関する商法の特例に関する法律の一部を改正する法律」(平成15年法律第132号)が平成15年9月25日に施行され、定款の定めをもって取締役会の決議による自己株式の買受けが認められました。

これに伴い機動的な資本政策を遂行できるよう、定款第6条(取締役会決議による自己株式の買受け)を新設するものであります。

第2号議案 定款一部変更の件

■変更の理由(2)

- (3) 当社株式が2004年4月20日をもって東京証券取引所市場第一部へ上場されたことに伴い、証券保管振替機構の株券保管振替制度において取り扱われておりますので、現行定款第9条、第11条について所要の変更をおこなうものであります。
- (4) 上記の変更に伴い条数の変更をおこなうと共に、その他一部字句、表現の整備をおこなうものであります。

第3号議案 取締役10名選任の件

取締役候補者(10名)

中村久三	中村静雄
諏訪秀則	常見佳弘
小日向久治	砂賀芳雄
山川洋幸	福田隆
桜田勇蔵	木村光利

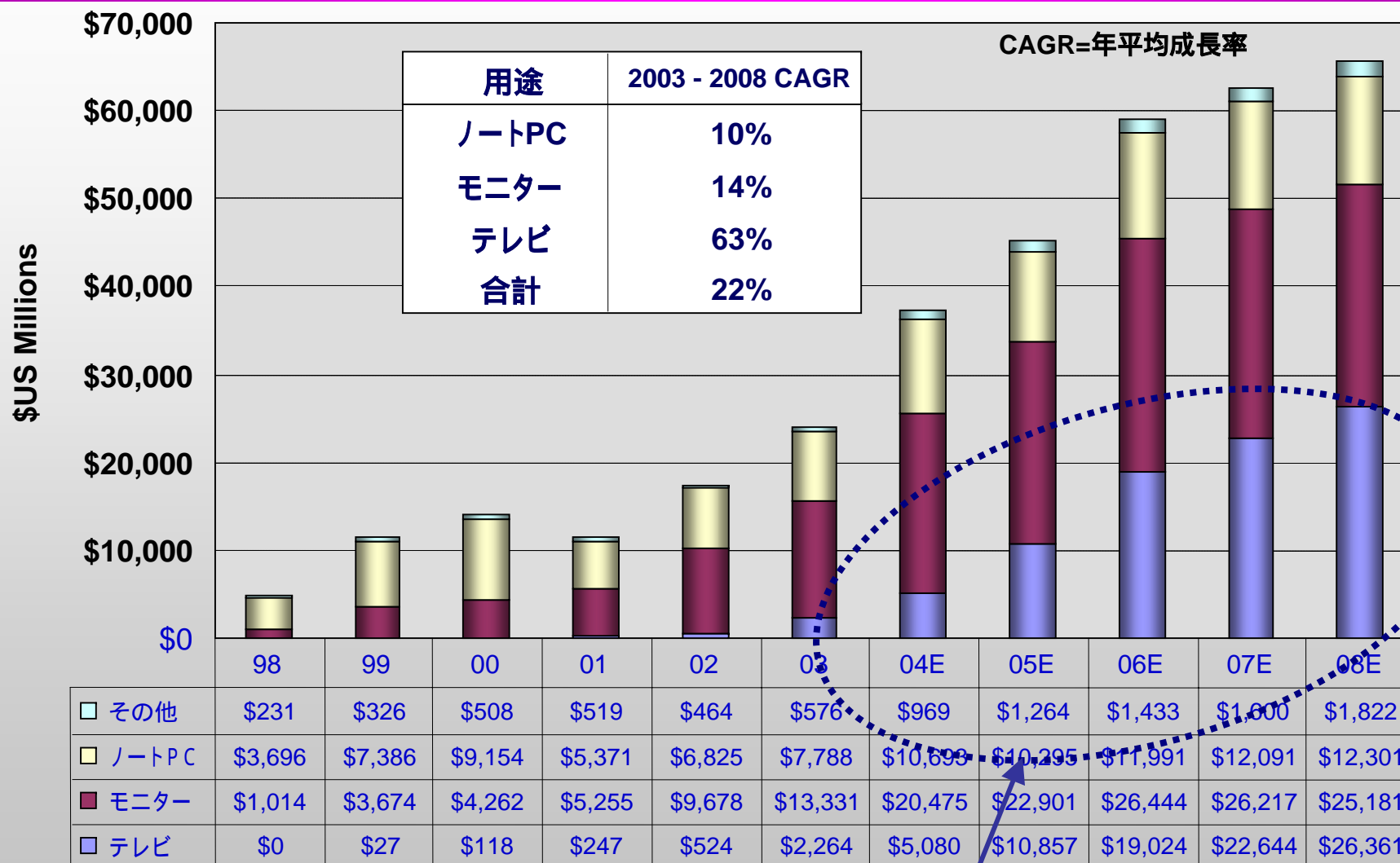
(非改選)

小林茂人
天野繁
柏木利廣
牧野正志

株主懇談会

- ▶ **市場環境**
- ▶ **2005年6月期連結業績見通し**
- ▶ **中長期の事業戦略**

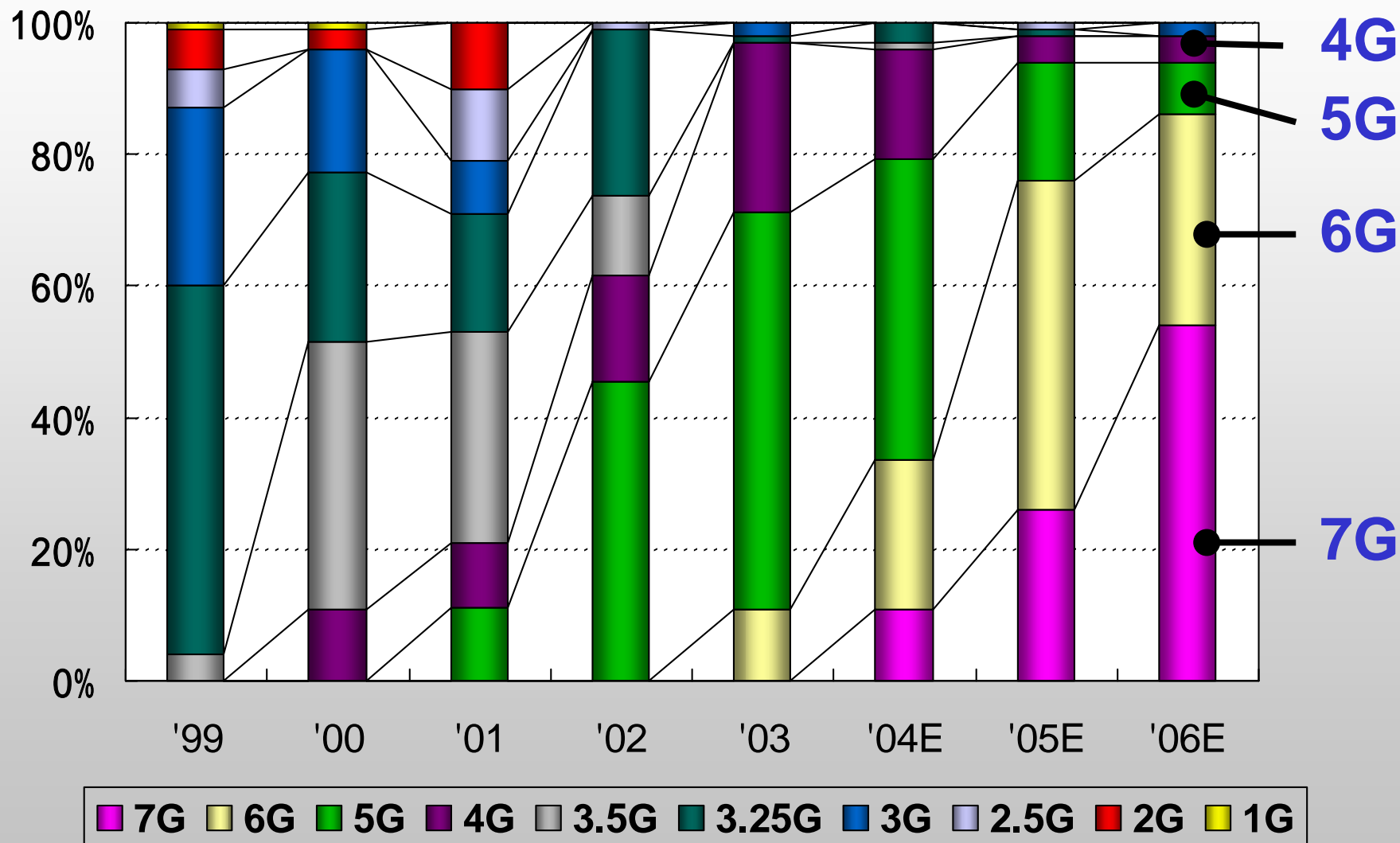
大型TFTLCD用途別市場規模 (金額)



(出所: Display Search)

TVは04年～08年で5倍

液晶ディスプレイ世代別投資



(出所: Display Search)

▶ 市場環境

▶ 2005年6月期連結業績予想

▶ 中長期の事業戦略

第101期(05/6期)業績予想(連結)

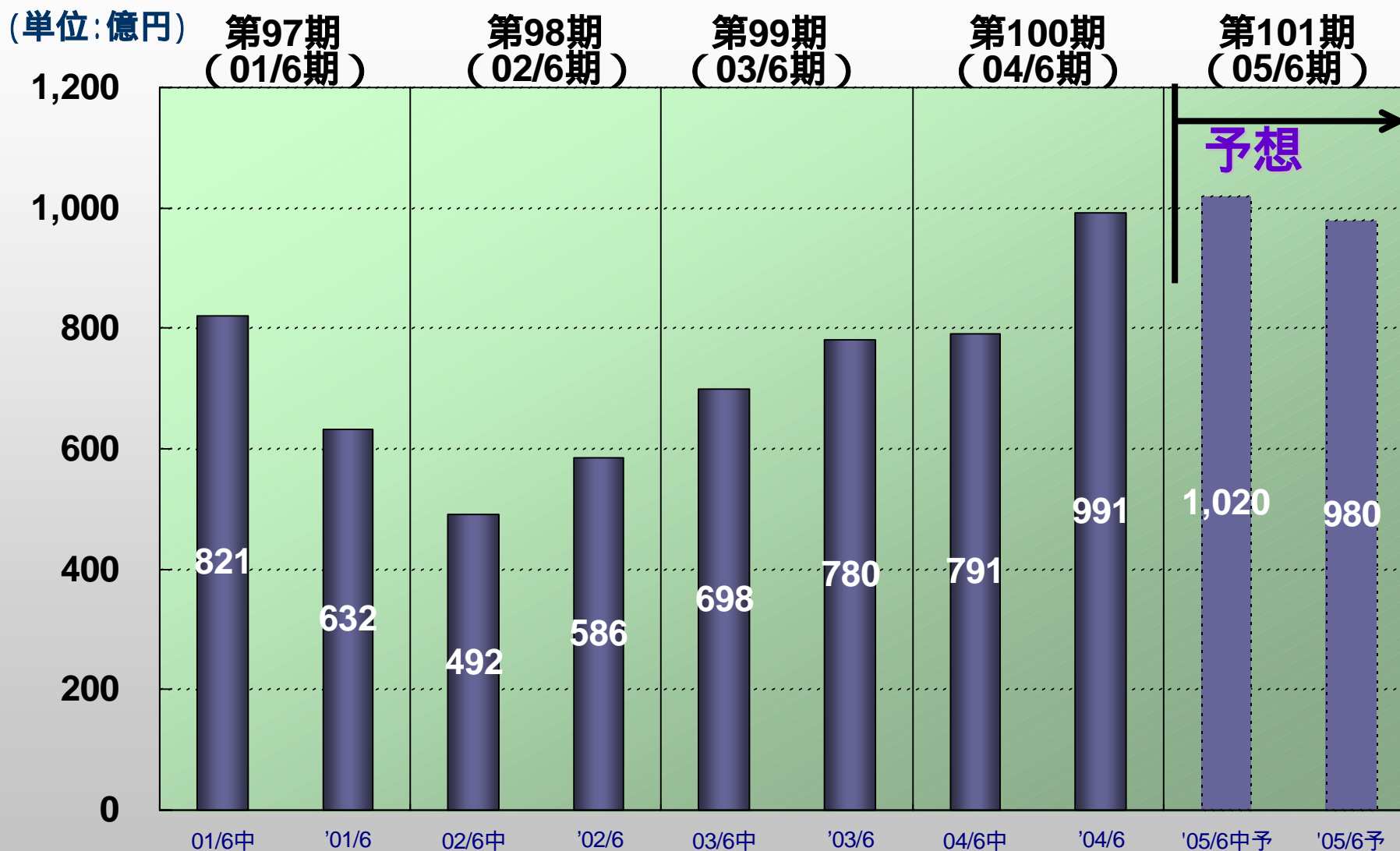
50

(単位:億円)

	98期 (02/6期)	99期 (03/6期)	100期 (04/6期)	04/12 (中間)	101期 (05/6期)
受注高	1,078	1,478 (+37%)	1,782 (+21%)	1,020	2,000 (+12%)
売上高	1,261	1,275 (+1%)	1,579 (+24%)	970	1,920 (+22%)
営業利益	23	47 (+104%)	85 (+81%)	70	118 (+39%)
経常利益	20	36 (+78%)	73 (+103%)	69	110 (+51%)
当期純利益	7	17 (+143%)	40 (+135%)	40	59 (+48%)

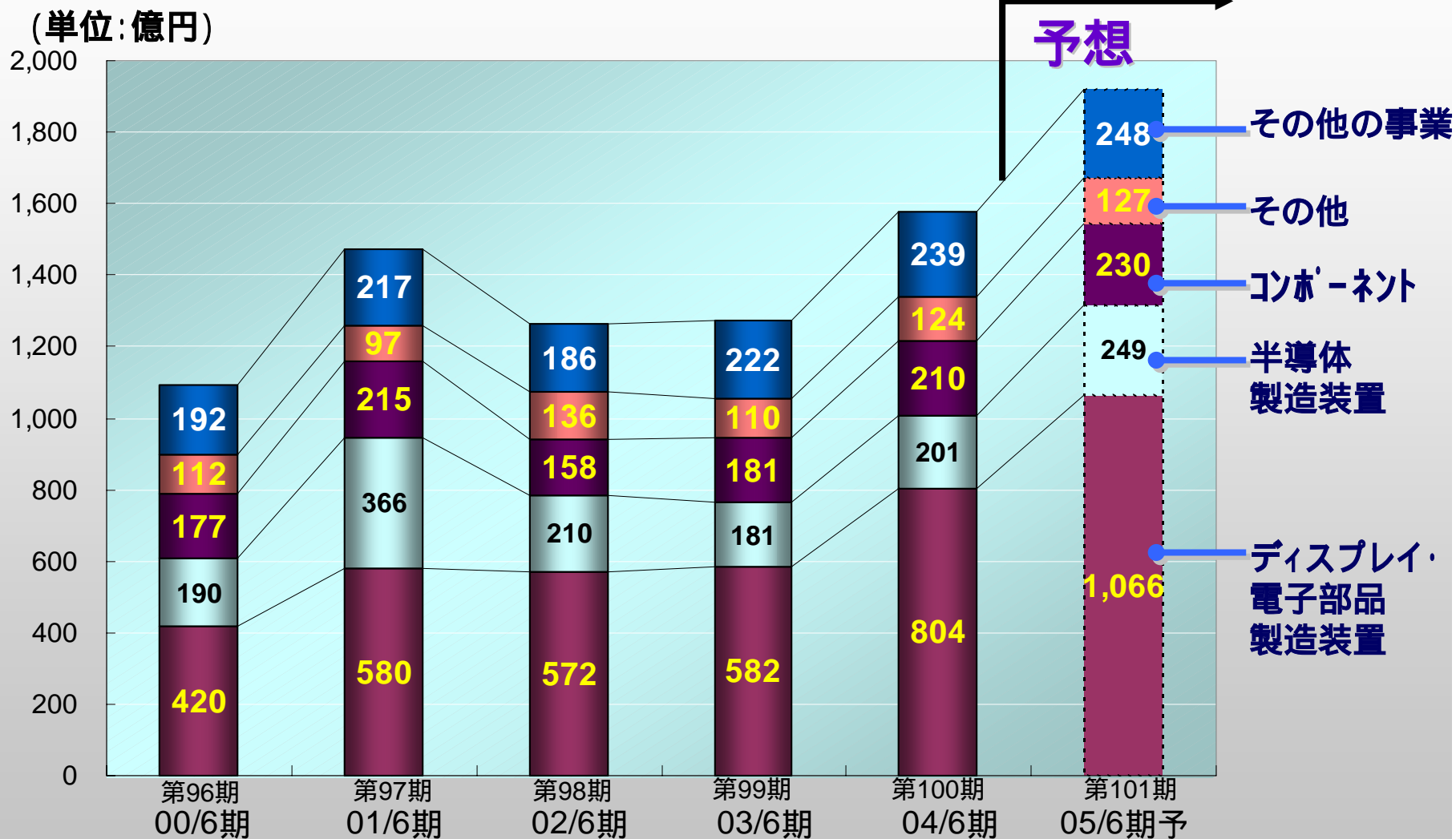
下段()内は増減率 (小数点以下は四捨五入)

受注高の推移・予想 (連結)



(小数点以下は四捨五入)

品目別売上高実績・予想

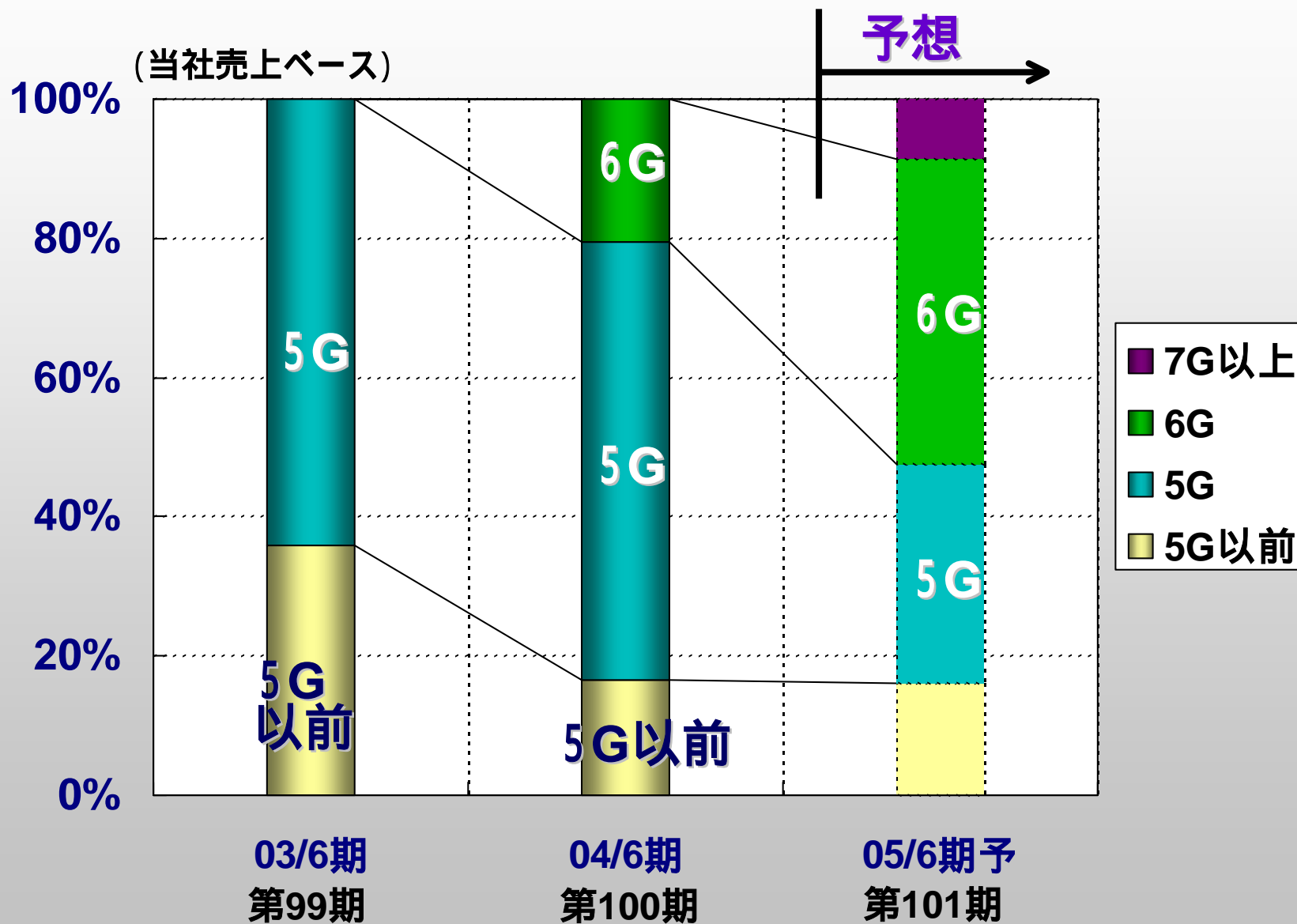


(小数点以下は四捨五入)

品目別の売上予想

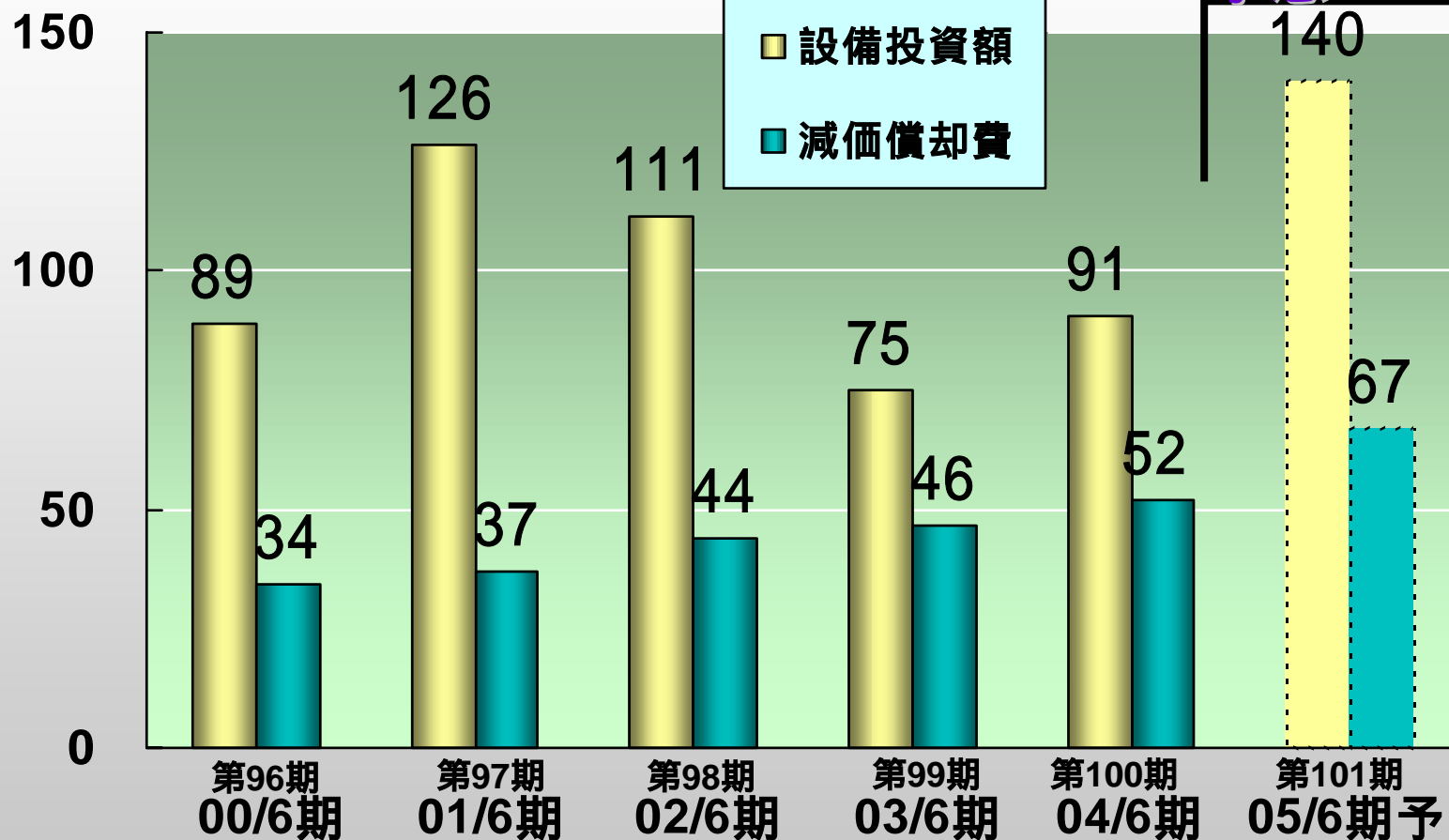
品目	第101期(05/6期)予想	
	増減率	背景
ディスプレイおよび電子部品製造装置	+33%	<ul style="list-style-type: none"> 薄型(液晶、プラズマ)テレビ市場向け5G、6Gの投資継続 LED、光学薄膜、実装基板など電子部品関連売上増見込む
半導体製造装置	+24%	<ul style="list-style-type: none"> デジタル家電、化合物半導体MEMS関連売上増を見込む
コンポーネント	+10%	<ul style="list-style-type: none"> 液晶、空調、自動車関連のポンプなど売上増を見込む
その他	+2%	<ul style="list-style-type: none"> 中国、ロシアで熱処理炉など拡販
その他の事業	+4%	<ul style="list-style-type: none"> 半導体、液晶用ターゲット、部品洗浄ビジネスなど売上増を見込む

液晶ディスプレイ製造装置の世代の推移



設備投資、減価償却費の推移 (連結)

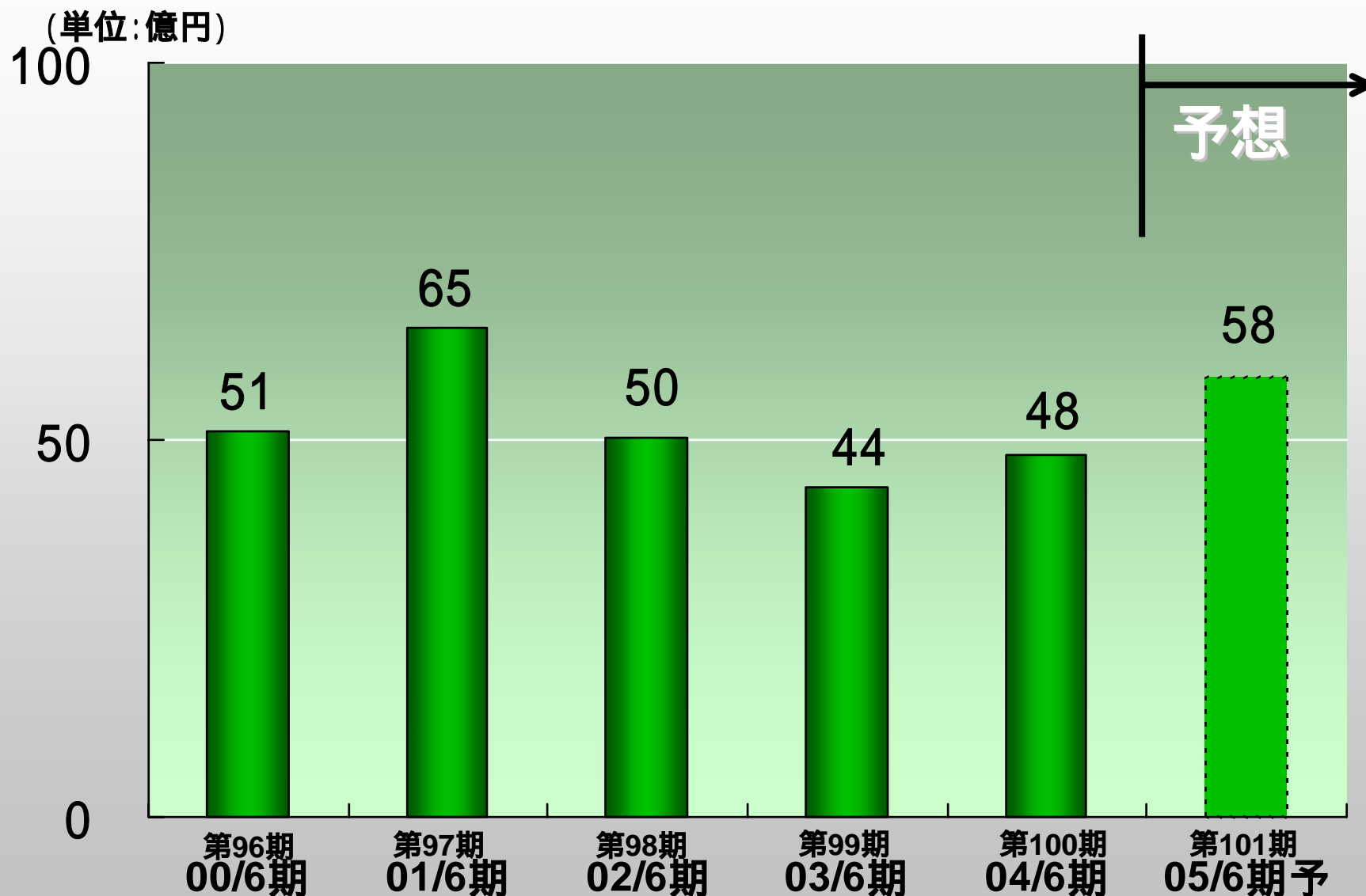
(単位: 億円)



設備投資額	89	126	111	75	91	140
減価償却費	34	37	44	46	52	67

(小数点以下は四捨五入)
Copyright ©2004. ULVAC, Inc.

研究開発費の推移(連結)



(小数点以下は四捨五入)
Copyright ©2004. ULVAC, Inc.

▶ 市場環境

▶ 2005年6月期連結業績見通し

▶ 中長期の事業戦略

中長期の事業環境

■ 足元の状況

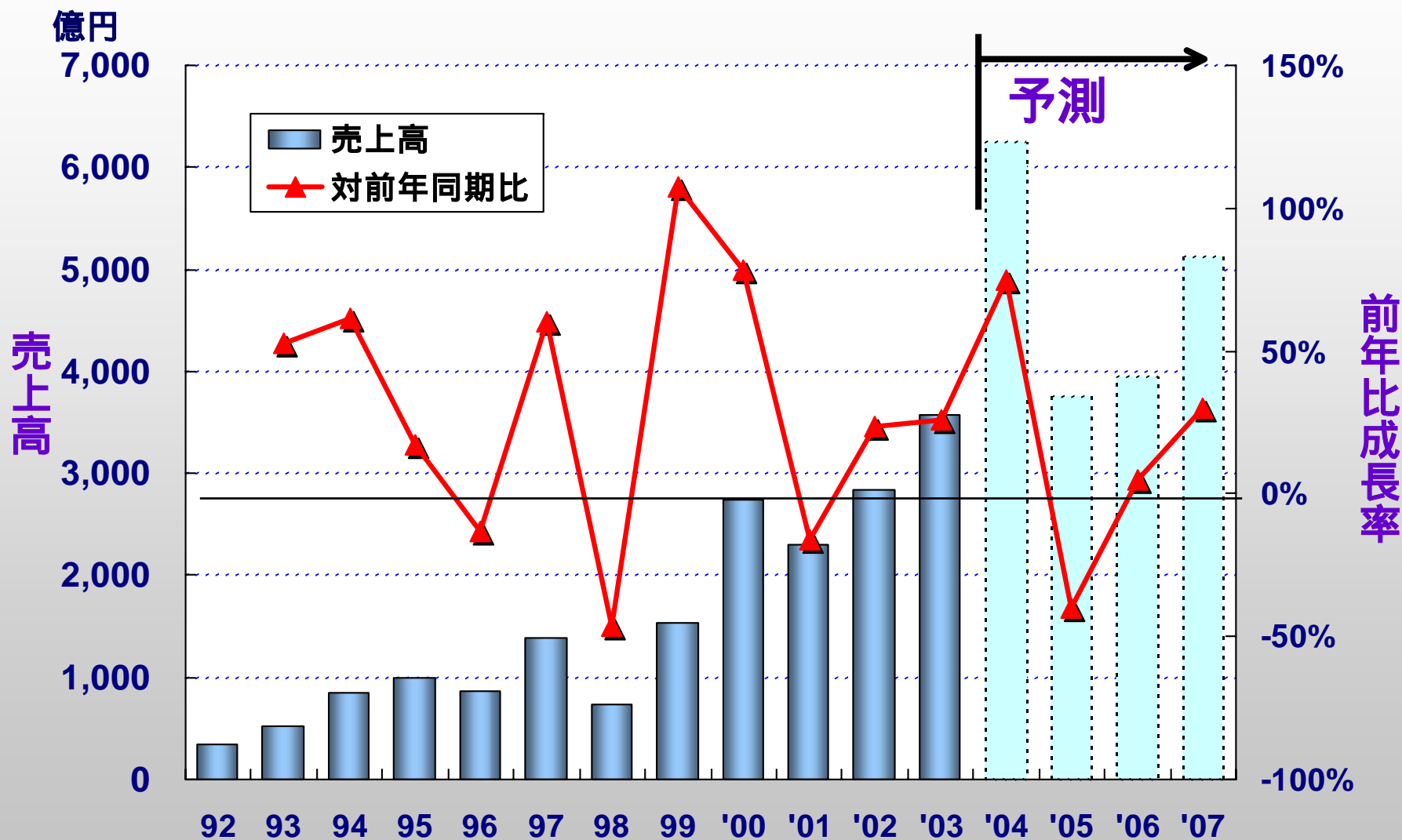
- FPD^{*)}は成長を持続するが、いずれ受注が減少
- FPDの受注減を埋め、さらに成長するために新しく成長する柱が必要

^{*)}FPD:フラットパネルディスプレイ

■ 中長期的な成長分野(ポストFPD戦略)

1. MEMS、光学膜などハイブリッドモジュール
2. エネルギー・環境関連のハイブリッド車
3. 世界を牽引する中国
4. 安定経営のためのCS(カスタマーサポート)ビジネス

液晶パネル製造装置予測 < 日本製装置売上高予測 > 59



(出所 :SEAJ)

(売上高:日系企業(海外拠点含む)の国内および海外への販売高)

新商品開発戦略 (ポストFPD戦略)

1. ハイブリッドモジュール用装置

▶ **光学膜**

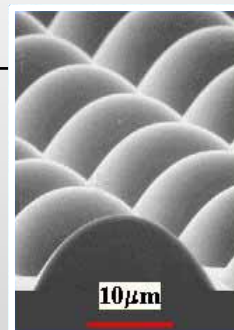
OCLIとライセンス契約



光学膜スパッタ装置

▶ **MEMS**

(光、バイオ、アクチュエーター、センサー等)

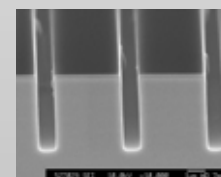


マイクロレンズアレイ

▶ **化合物半導体**



エッチング装置



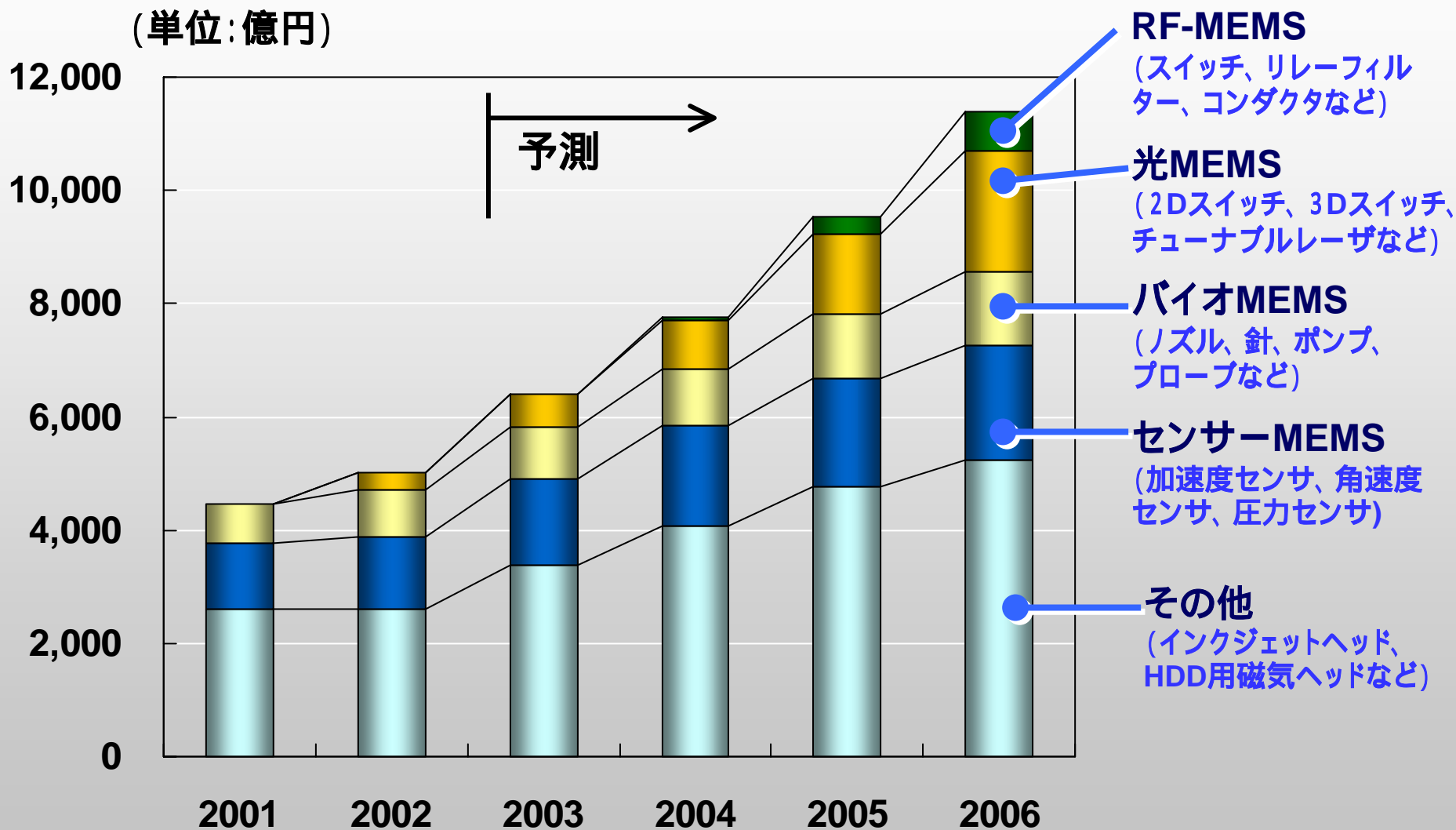
GaAs

▶ **高密度実装**



スパッタ装置

MEMSの市場予測



(出所: 経済産業省技術調査レポート)

2.ハイブリッドカー関連装置

▶ **永久磁石**
(モーター用希土類磁石)

▶ **二次電池**
(水素吸蔵合金、Li電池等)

▶ **コンデンサー**
(フィルムコンデンサー)

▶ **パワーIC**
(極薄ウエーハ、SiC等)



真空蒸着装置



真空焼結炉



真空溶解炉



スパッタ装置



イオン注入装置

大手自動車メーカーのハイブリッド車展開



(単位:台)

	全世界
トヨタ	53,282
ホンダ	25,264

03年ハイブリッド車販売台数

(出所:日本工業新聞をもとに当社作成)

フォード

エスケープ(04/10 ~,2万台)
 フューチャ(05 ~)

日産

(06 ~)

GM

独自開発車(05 ~)

ダイムラークライスラー

Vision Grand Sports Tourer(時期未定)

3. 中国市場

▶ ローテクからハイテクまですべての分野

- ◆ コンポーネント(自動車、家電関連)
- ◆ 一般産業機器(磁石、熱処理、真空巻取蒸着)
- ◆ 電子機器(LED、VFD、パワーデバイス、チップ抵抗、SAWデバイス等)
- ◆ FPD・半導体(TFT、PDP、5”～300mmウエーハ)

4. CS事業とOEM生産

▶ 洗浄、部品、材料、サービス

- ◆ CSソリューションパッケージ

▶ 光学膜OEM

CS (カスタマーサポート) ソリューションパッケージ

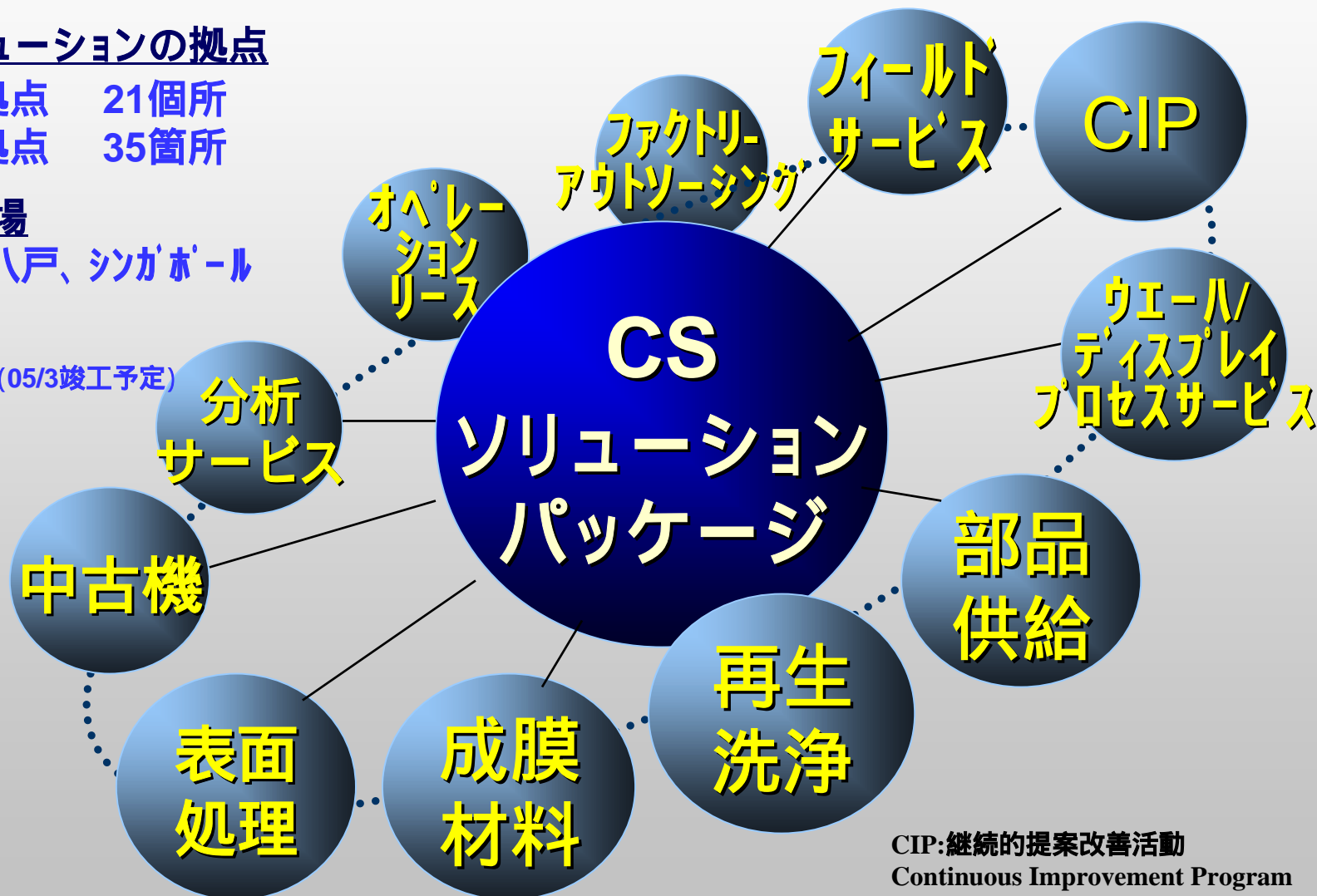
グループ一体でサービスソリューションを提供

主なCSソリューションの拠点

- ・海外CS拠点 21箇所
- ・国内CS拠点 35箇所

部品洗浄工場

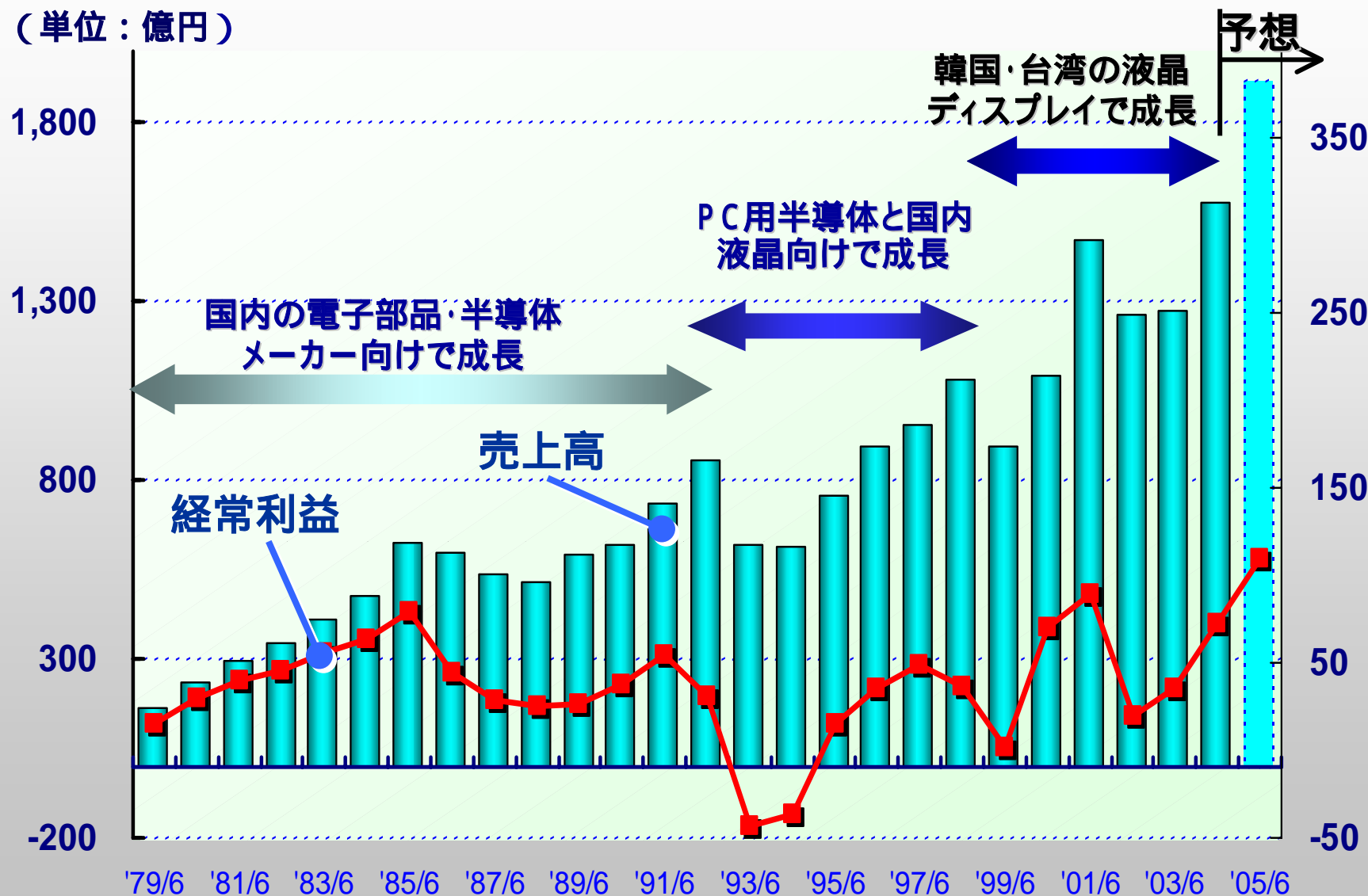
- ・鹿児島、八戸、シンガポール
- ・中国蘇州
- ・韓国平澤 (05/3竣工予定)



CIP: 継続的提案改善活動
 Continuous Improvement Program
 Copyright ©2004. ULVAC, Inc.

売上高・経常利益の推移

(単位：億円)



本日は ありがとうございました

このプレゼンテーション資料で述べられている将来の当社に関する見通しは、現時点で知っている情報をもとに作成されたものです。当社グループのお客様であるフラットパネルディスプレイ・半導体・電子部品業界は技術革新のスピードが大変速く、競争の激しい業界です。

また、世界経済、為替レートの変動、フラットパネル・半導体・電子部品の市況、設備投資の動向など、当社グループの業績に直接的・間接的に影響を与える様々な外部要因があります。

したがって、実際の売上高および利益は、このプレゼンテーション資料に記載されている予想数値とは大きく異なる可能性があることをご承知おきください。